

実施要領案 (資料編)

アンケート用紙

Q1 授業開始に当たって、質問します。
あなたは、18歳になったら投票に行きますか？（一つだけ選択し、理由も記入）

- 行く
- どちらかと言えば行く
- どちらかと言えば行かない
- 行かない
- わからない

上記を選んだ理由を記入してください。

Q2 授業の中で使用する設問です。
あなたが記載したビフォー欄とアフター欄とを見比べて、記載した内容に変化がありましたか？

- 変化した
- 変化していない

Q3 これも、授業の中で使用する設問です。
あなたが投票先を選ぶに当たって、どの政策テーマに関心あるものとして抽出しましたか。（複数選択可）

- | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 憲法改正 | <input type="checkbox"/> 消費税 10% | <input type="checkbox"/> 経済・アベノミクス |
| <input type="checkbox"/> 原発・エネルギー | <input type="checkbox"/> 外交・安全保障 | <input type="checkbox"/> 社会保障 |
| <input type="checkbox"/> 子育て | <input type="checkbox"/> 教育 | <input type="checkbox"/> 働き方 |
| <input type="checkbox"/> 女性活躍 | <input type="checkbox"/> 災害・復興 | <input type="checkbox"/> 農林水産業 |
| <input type="checkbox"/> 中小企業 | <input type="checkbox"/> 環境 | <input type="checkbox"/> 地方創生 |
| <input type="checkbox"/> SDGs | <input type="checkbox"/> 政治・行政改革 | <input type="checkbox"/> その他（ ） |

Q4 これも、授業の中で使用する設問です。
ビフォーとアフターのワークをやってみて、自分が投票先を選ぶに当たって、どのようなことが大切だと感じましたか。自由に記入してください。

Q5 これも、授業の中で使用する設問です。
過去の実際の選挙結果と校内の模擬投票開票結果を比較して、自分の思うことを記入してください。（例えば、①どこが違うのか、②その違いはなぜ生じるのだろうか、③その違いを踏まえて、今後自分がどのように選挙に向き合おうと思ったかなど自由記載）

Q6 授業終了に当たって、最後にもう一度、質問します。
あなたは、18歳になったら投票に行きますか？（一つだけ選択し、理由も記入）

- 行く
- どちらかと言えば行く
- どちらかと言えば行かない
- 行かない
- わからない

上記を選んだ理由を記入してください。

提出不要

ビフォー・アフター用紙

学年 _____ クラス _____ 番号 _____ 氏名 _____

ビフォー	アフター
<p>〔設問1〕 下記のいずれかを選択してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 次の政党に投票する（政党名も記入すること）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 40px;">政党名</div> <p><input type="checkbox"/> 白紙で投票する</p> <p><input type="checkbox"/> 投票を棄権する</p> <p>〔設問2〕 上記の政党を選択した理由 or 白紙で投票するを選択した理由 or 投票を棄権するを選択した理由を記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%; margin-top: 10px;"></div>	<p>〔設問1〕 下記のいずれかを選択してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 次の政党に投票する（政党名も記入すること）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 40px;">政党名</div> <p><input type="checkbox"/> 白紙で投票する</p> <p><input type="checkbox"/> 投票を棄権する</p> <p>〔設問2〕 上記の政党を選択した理由 or 白紙で投票するを選択した理由 or 投票を棄権するを選択した理由を記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%; margin-top: 10px;"></div>

グループワークのときに使用するメモ欄

グループ内のメンバーは、どんな政策テーマに対して、どんな理由で関心を持ったんだろう？

政策テーマ	関心を持った理由

令和元年参院選「比例代表」の開票結果

政 党 名	獲得議席	得票数	得票率
自 由 民 主 党	19	17,712,373.119	35.37%
立 憲 民 主 党	8	7,917,720.945	15.81%
国 民 民 主 党	3	3,481,078.400	6.95%
公 明 党	7	6,536,336.451	13.05%
日 本 維 新 の 会	5	4,907,844.388	9.80%
日 本 共 産 党	4	4,483,411.183	8.95%
社 会 民 主 党	1	1,046,011.520	2.09%
れ い わ 新 選 組	2	2,280,252.750	4.55%
NHKから国民を守る党	1	987,885.326	1.97%
オ リ ー ブ の 木	0	167,897.997	0.34%
幸 福 実 現 党	0	202,278.772	0.40%
労働の開放をめざす 労働者党	0	80,055.927	0.16%
安楽死制度を考える会	0	269,052.000	0.54%
合 計	50	50,072,198.778	100.00%

校内の開票結果

政 党 名	得票数	得票率
自由民主党		%
立憲民主党		%
国民民主党		%
公 明 党		%
日本維新の会		%
日本共産党		%
社会民主党		%
れいわ新選組		%
NHKから国民を守る党		%
オリーブの木		%
幸福実現党		%
労働の開放をめざす労働者党		%
安楽死制度を考える会		%
有効投票合計		100.00%

白 票	
その他の無効票	
無効投票合計	

棄 権	
-----	--

総合計	
-----	--

高校向け「新たなせんきょ体験授業」

進行シナリオ

ねらい	進行
目的を確認する【講義】5分間	
<p>13:15~</p> <p>■目的を確認 (パワポ資料)</p> <p>■資料の確認</p> <p>■投票意識調査① (アンケート用紙)</p>	<p>○今日の「せんきょ体験授業」の目的は大きく、二つ。</p> <p>○一つは、投票参加の意義や選挙の仕組みを理解し、選挙や政治に関心をもってもらうこと。</p> <p>○もう一つは、実際の選挙の際に自分が何を基準に投票先を選択していくことになるのかを、実際に行われた過去の選挙を題材に、現実即して体験してもらうこと。</p> <p>○そして究極的に、授業を一つのきっかけに、皆さんに、「必ず投票に行かなきゃ」「選挙って難しくない」と思ってもらえたらいいなと、そう願って、この授業を始めます。</p> <p>○休憩を挟んで、2時間の授業となりますが、最後までよろしくをお願いします。</p> <p>《参考》</p> <p>※授業の初めの段階で、「せんきょ体験授業の受講経験の有無」と「親に付いて投票所に入った経験の有無」の二つを生徒に問うと、教室の緊張感を解く意味でも、生徒の状況に応じた授業展開を考えるとという意味でも、有効かつ効果的。</p> <p>○最初に、資料を確認します。皆さんの手元に、三種類の資料を事前に配布しています。①右上に、配付資料1とある、アンケート用紙、②配付資料2とある、令和元年参院選「比例代表」の選挙公報、③配付資料3とある、ビフォー・アフター用紙、④「模擬投票」と書いてある、ハガキ大の投票案内です。過不足がある方は、手を挙げてください。</p> <p>○最初に、アンケートの設問1に答えてもらおうと思います。</p> <p>○このアンケートは、授業終了時に提出してもらいますが、名前を記入する必要はありません。</p> <p>○皆さんは、18歳になれば選挙権を持つこととなりますが、そのときには投票に行こうと思っているかどうか。この授業を受ける前の自分の正直な考えを、理由と合わせて記入してください。</p> <p>○1分間で、直感的に記入してください。</p>

	<p>○（1分間経過後）それでは、アンケート用紙はこのあと授業中に使いますので、それまで伏せておいてください。</p>
<p>現在の自分の位置を確認する【個人ワーク】10分間</p>	
<p>13:20～ ■投票先選定① （選挙公報） （ビフォー・アフター用紙）</p> ■タイムリミットを確認、ハードルを下げる	<p>○それでは、もし今、投票するとしたらどんな感じで投票先を選ぶことになるかを、疑似体験してもらおうと思います。</p> <p>○ここで皆さんに尋ねますが、これまでに自宅などで、このような「選挙公報を見たことがある」という方は、手を挙げてもらえますか。</p> <p>○選挙公報とは、候補者や候補政党の氏名や名称をはじめ、それぞれの主義や主張などを掲載した文書で、候補者側が原案を作成し、我々選挙管理委員会が選挙の都度、発行しているもので、一人暮らしであろうと、家族暮らしであろうと、全ての世帯に、選挙の日の二日前までに、必ず配られるものです。</p> <p>○よって、今まで見たことがないという方の家にも届けられており、実際に投票先を決める際、一つの基本的な判断材料となります。</p> <p>○そこで、配付資料2の、選挙公報を見てください。</p> <p>○これは今から2年前、実際に参院選が行われたとき、有権者の皆さんに選挙管理委員会から配付した「比例代表」選挙の公報の写しです。</p> <p>○まずは、自分の理解できる範囲で構わないので、内容を読んでみて、ここから得られる情報だけを基礎にして、どの政党に投票したいかを、配付資料3、ビフォー・アフター用紙のビフォー欄に、理由と合わせて記入してください。</p> <p>○この用紙は、あとで回収しません。「投票の秘密の保持」というルールがありますから。自分だけのものとして、裏面のメモ書きも含めて、自由に使ってください。</p> <p>○なお、選挙公報の見方ですが、例えば、一枚目の上にある政党名は、顔写真の左側にある「安楽死制度を考える会」というのが正式名称で、その右下にある「安楽会」というのが略称です。今日の授業中でも、また、実際の選挙でも、正式名称、略称のいずれを書いても大丈夫です。</p> <p>○このあとパワーポイント資料で説明しますが、実際の選挙での実態を踏まえ、①投票所には行くけど投票用紙には何も書かずに投票する「白紙投票」という選択肢と、②投票所に行かない「投票棄権」という選択肢を、そうあっては欲しくないけれども、敢えて用意しています。</p>

<p>■タイムリミット</p>	<p>○何か、質問がありますか。（質疑・応答） ○それでは今から5分間、13時30分まで、お願いします。</p> <p>○（4分間経過後）残り1分となりました。今読んでいる選挙公報は、實際上、政党間の比較をしづらいかもしれません。 ○その場合、まずは全ての政党の公報を眺める程度にさっと読んでみて、感覚的でもいいのでビフォー欄を記入し、まずは一旦、仕上げてください。</p> <p>○時間となりました。ビフォー・アフター用紙はあとでもう一度使いますので、それまで伏せておいてください。 ○続いて、パワポ資料を使って（別の講師より）講義をしますので、聞いてください。</p>
<p>投票参加の意義と選挙の仕組みを学ぶ【講義】15～20分間</p>	
<p>13:30～ ■講義</p>	<p>（パワポ資料に基づき説明）</p>
<p>社会の諸課題への関心を広げる【グループワーク】10～15分間</p>	
<p>13:50～ ■グループ編成</p> <p>■追加資料配付 （政党公約政策比較一覧）</p>	<p>○それでは、これからグループワークをしてもらいますので、グループを作ってください。（1名当たり1分間の発言時間と想定し、5名程度で1グループを構成するイメージで事前に先生と相談の上、生徒に指示する）</p> <p>○今から皆さんに、追加で資料を配ります。 ○これは、令和元年参院選に向け、早稲田大学マニフェスト研究所が、各政党が掲げる政策を比較できるように作成した「一覧表」です。各政党が発行する政策集「マニフェスト」や、独自に政党からアンケート調査した結果などをベースに作成しているものです。</p> <p>○ただ、1点、注意が必要です。選挙公報では13政党が候補として挙がっているのに対し、一覧表ではマニフェストが無いなどの理由から7つの政党しか掲載されていないということです。</p> <p>○この授業では、この一覧表を使用する関係から、その7つの政党を対象として「個人ワーク」と「グループワーク」をしてもらいますが、最終的には、その7つの政党を含む、全13政党の中から投票先を選んでもらいます。だから、ビフォー・ア</p>

	<p>フター用紙のビフォー欄に、この一覧表に載っていない政党を記入した方も、どうぞご安心ください。</p>
<p>■一覧表の見方説明</p>	<p>○事前に一覧表の見方を伝えますが、左から2列目の縦軸には「政策テーマ」が記載されています。中ほどの「憲法改正」から始まって「子育て」まで、そして、次のページの「教育」から「その他」まで、全部で18項目あります。</p> <p>○次に、最上段を見てもらいたいのですが、横軸には「自由民主党」から「社民党」まで7つの政党があります。</p> <p>○このマトリクス表によって、政策テーマについて各政党がどんな考えを持っているのかが分かり、比較可能になるというものです。</p>
<p>■政策テーマを一つ選ぶ</p>	<p>○ではまず、「個人ワーク」をしてもらいますが、この一覧表の左から2列目の18項目ある「政策テーマ」の中から、自分が関心のあるものを「一つ」か「二つ」選んでください。鉛筆で該当テーマを○で囲んでもいいし、頭の中で思っているだけでもいいです。</p> <p>○この段階では、「政策テーマ」ごとに、右側に目を向けていく必要はありません。単純に、「政策テーマ」をさっと眺めていって、「自分はこれが一番大事だと思う」とか、「このテーマはなんか気になる」とか、そういう選び方で結構なので、自分のアンテナに引っかかるものを選んでください。</p> <p>○何か、質問がありますか。（質疑・応答）</p> <p>○それでは今から1分間で、お願いします。</p>
<p>■司会者選出</p>	<p>○（1分間経過後）それでは、これから「グループでの意見交換」をしてもらいます。その前にグループの中から一人、司会者を選んでください。今日は、グループ発表は行いませんので、自分自身も意見を述べる人でありながら、グループ内のタイムキーパー兼進行役もお願いするというものです。</p> <p>○（決まった頃）それでは、各テーブルでの司会者となった方、手を挙げてもらえますか。では、よろしくお願いします。</p>
<p>■議題の確認</p>	<p>○議題は、「自分の関心のある政策テーマ」についてです。順番に一人ずつ、項目を「一つだけ」紹介した上で、「なぜそのテーマに関心があるか」を理由も教えてあげてください。</p> <p>○これには、意見交換を通じて「自分自身の関心の幅を広げてほしい」というねらいがあります。よって、もし、先ほど「二つ」テーマを選んでくれた人がいるなら、グループの他のメンバーが取り上げたテーマと重複しないものを発表してくれると嬉しいです。</p> <p>○そして、その発言内容に対し、「そういう関心の持ち方もあ</p>

<p>■ルール確認</p>	<p>るんだ」「もう少し聞いてみたい」と思ったら、どうぞ、質問して聞いてあげてください。</p> <p>○先ほど使用したビフォー・アフター用紙の裏面に、「メモ欄」があると思います。このグループワークで、一緒になったメンバーが、どんな政策テーマに対して、どんな理由で関心を持ったと言っていたのかをメモって、最後に、自分で投票先を決める際の、参考材料にしてください。</p> <p>○ここで注意点があります。何に関心を持つかは人それぞれ自由だということです。</p> <p>○だから、意見交換に当たっては二つだけ、簡単なルールを定めます。一つは、「相手を否定しない」ということ。もう一つは、「自分の考えを押し付けない」ということ。これだけを、守ってください。</p> <p>○何か、質問がありますか。（質疑・応答）</p> <p>○それでは、今から5分間、14時00分まで、司会者の方も含め、全員が自分の関心テーマを紹介する機会があるよう、意見交換を進めてください。</p> <p>（選管職員、先生が各テーブルを巡回し、話が弾まないようであれば少し助言を入れたり、早く話が終わってしまっていたら二つ目の関心時を意見交換するよう助言したりする）</p> <p>○（5分間経過後）それでは、これで意見交換を終了しますので、席を元の状態に戻してください。そして、これより10分間、休憩時間を取りますので、14時15分になったら、着席をお願いします。</p>
<p>14:05~</p> <p>■休憩</p>	<p>（休憩）</p>
<p>投票先を決めるための自分なりの選択基準を持つ【個人ワーク】20分間</p>	
<p>14:15~</p> <p>■投票先選定② （ビフォー・アフター用紙）</p>	<p>○それでは、これからもう一度、どの政党に投票したいかを選んでもらいますが、その前に、先ほどのグループワークで使用した政党公約政策比較の「一覧表」を用意してください。</p> <p>○今度は、政策テーマの中から、自分が関心あると思うものを「三つ」選んでください。先ほどの意見交換によって、自分の関心が変化したのであれば、前とは違うものを選んで全然構いません。</p> <p>○その上で今度は、政策テーマごとに、右側に書いてある各政</p>

	<p>党の考えを順に読み込み、自分の意見に一番沿っていると思うものに丸印を付けていってください。</p> <p>○そして最後に、その○印を付けた政党の中から、○印の数が最も多い政党を選んでもいいし、あるいは、一つしか○印が付いていないけれども一番大事だと思う政策テーマで○印の付いた政党を選んでも構いません。</p> <p>○あるいは、先ほどもお伝えしたとおり、この7つの政党ではなく、選挙公報に載っていた残り6つの政党の中から選んでも構いません。</p> <p>○いずれにしても、それがきつと、投票先を決めるための「自分なりの選択基準」だと思いますので、その考え、感じ方を、どうぞ大切にしてください。</p> <p>○そうして、投票先が決まったら、最初に使ったビフォー・アフター用紙のアフター欄に、理由と合わせて記入してください。</p> <p>○何か、質問がありますか。（質疑・応答）</p> <p>○それでは今から15分間、14時32分まで、お願いします。</p>
<p>■ハードルを下げる</p>	<p>○（5分経過後）5分経過しました。政策テーマの選択は、難しければ「一つ」でもいいし、逆に、余力があれば「四つ」「五つ」でも構いません。</p> <p>○まずは、時間内に投票先を決めて、それをアフター欄に記入するということを、最優先にしてください。</p>
<p>■更にハードルを下げる</p>	<p>○（さらに5分経過後）残り5分です。選ぶ際、ベストな政党がないかもしれませんが、でも、ベターな政党を選ぶという視点に立てば、少し楽に選べるかもしれません。残り5分でアフター欄に投票先を記入できるよう、考えてみてください。</p> <p>○もし、早く終わった方がいたならば、他の政策テーマにも関心を広げ、それぞれ政党の主張がどうなっているのか、勉強してってください。</p>
	<p>《参考》</p> <p>※個人差によって、相当早い時間帯で投票先選定を終えている生徒がいる可能性もあるが、一方で、まだ時間を必要としている生徒もいることに留意し、時間を短縮する場合には、教室全体を見ながら対応（現場判断）。</p>
<p>■タイムリミットの確認</p>	<p>○（さらに4分経過後）残り1分です。まだ、投票先を選べていない方も、何とかアフター欄の仕上げに取り掛かってください。</p> <p>○（さらに1分経過後）時間となりましたので、これから、投票当日だと思って、投票体験をしてもらいます。</p>

投票を体験する【模擬投票】20分間	
<p>14:35～</p> <p>■投票</p>	<p>○では、この列の方から順に、最初に配っていた投票案内ハガキと筆記具を持って、隣の402教室の方に移動し、係の案内に従って、先ほど「アフター欄」に記入した内容に基づいて投票を行ってまいります。</p> <p>○実際の参議院選挙の際には、「政党名」又は「候補者名」のいずれによる投票も可能ですが、授業では、「政党名」での投票に限定しますので、ご注意ください。</p> <p>○なお、今回、「白紙投票」を選択する方がいる場合には、何も書かずに、お願いします。</p> <p>○また、「投票棄権」を選択する方がいる場合には、本番では投票所に行かないことになるわけですが、「投票の秘密」を守るために今回は、投票用紙に平仮名で「きけん」と記入してください。</p> <p>○では、この列の方から、移動を開始してください。</p>
<p>■開票</p>	<p>(投票終了次第、開票)</p>
<p>■投票先を選ぶ際の 気付き (アンケート用紙)</p>	<p>○(生徒が投票を終えた段階で…)ここでもう一度、アンケート用紙を出してください。設問2～設問4まで、答えてもらおうと思います。今から3分間で記入し、終わったらもう一度、伏せておいてください。</p> <p>《参考》</p> <p>※投票を終えた生徒から順に、設問2～設問4まで答えてもらい、その生徒の中から複数名、開票の手伝いをしてもらうという対応も可能。</p> <p>※さらに、体育館で大勢を対象に授業を実施する場合、残りの生徒には、開票作業を見学してもらうという展開も有効。</p>
振り返り【個人ワーク】締めくくりを含め10分間	
<p>14:55～</p> <p>■校内の開票結果 (校内の開票結果) (アンケート用紙)</p>	<p>○この体験授業も最後の振り返りの時間となりました。</p> <p>○校内の開票結果も出ましたので、お配りします。</p> <p>○これから、過去の実際の選挙結果と校内の模擬投票開票結果を比較して、自分の考えをアンケート用紙に記入してもらいます。</p> <p>○回答に当たっての観点ですが、例えば、①どこか違いがあるか、②その違いはなぜ生じると思うか、③その違いを踏まえ、</p>

<p>■投票意識調査②</p>	<p>今後、どう選挙に向き合っていこうと思ったかなど、自分の考えを、アンケートの設問5に記入してください。 ○3分間、15時00分までお願いします。</p> <p>《参考》 ※時間に余裕があれば、①どこか違いがあるかということ、生徒に問い掛け、答えてもらう進行も考えられる。 ※万一、校内の開票集計が遅れそうであれば、速報値でもいいので授業時間内に何らかの結果を配ることを最優先し、まずは生徒にアンケートに答えてもらい、確定値が出次第、先生から生徒に渡してもらうなど、柔軟に対応。</p> <p>○最後に、アンケートの設問6に答えてもらおうと思います。 ○皆さんが、18歳の選挙権年齢に到達したら、投票に行こうと思っているかどうか。この授業を受けた後の自分の正直な考えを、理由と合わせ、1分間で、直感的に記入してください。 ○このアンケート用紙は、回収しますので、担当の者にお渡しください。</p> <p>(担当者が生徒一人ひとりから、記入済アンケート用紙を回収)</p>
<p>締めくくり</p>	
<p>15:03~ ■授業終了</p>	<p>○今日は、実際の選挙の際にどうやって投票先を選ぶか、様々ある中での一つの方法について、わずか2時間の中で体験していただきました。</p> <p>○消化不良の点はあったかもしれませんが、この授業を一つのきっかけに皆さんには、まずは「必ず投票に行かなきゃ」と思ってもらえたならいいなと願っています。</p> <p>○それと、これによって皆さんの選挙に対する心理的ハードルが少しでも下がり、「社会の色々な問題への認識が不十分であっても、完璧を求めずに、その時の自分の関心と理解で選挙に臨んでもいいんだ」と思ってくれたなら、大変嬉しく思います。</p> <p>○今日の授業が、その一助になりますように。</p>